



分数シリーズ第3弾

— 宇宙分数警察 登場 —



インチキ エステに だまされるな!

作 芦川 健



絵 板垣けんじ & ガリバー

広島算数サークル 伊田忠司

①



1の裏

最近どうも運動不足のキューちゃん，ユトーリ王国で，いっぱいごちそうになり，少しおなかもぽっちゃりしてきました。

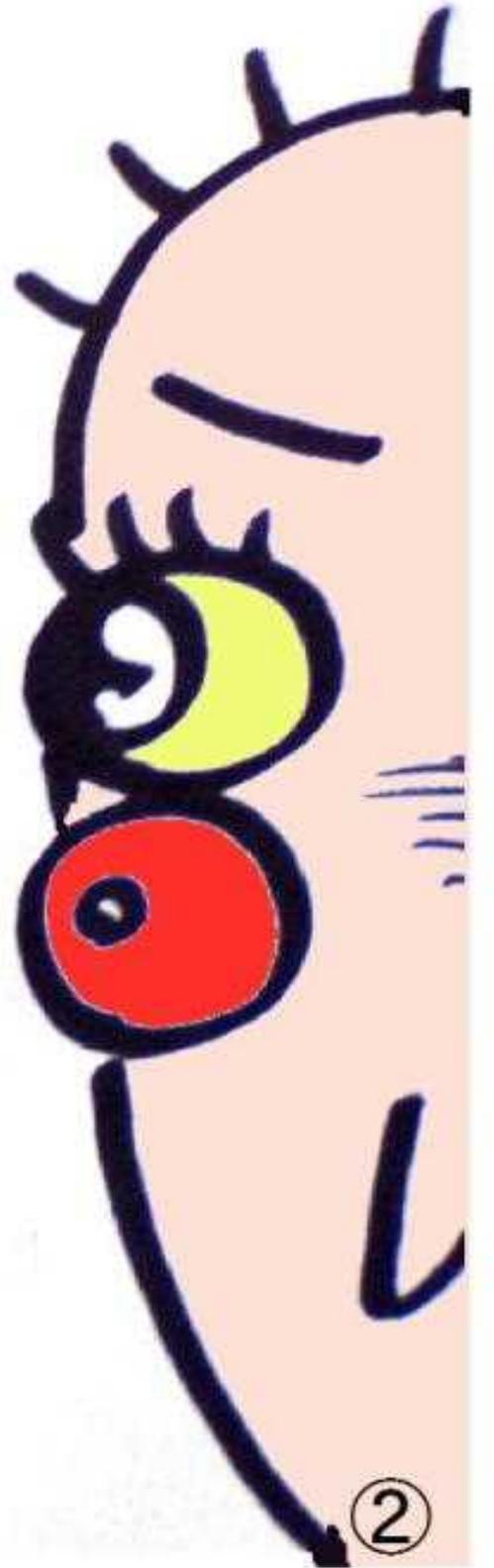
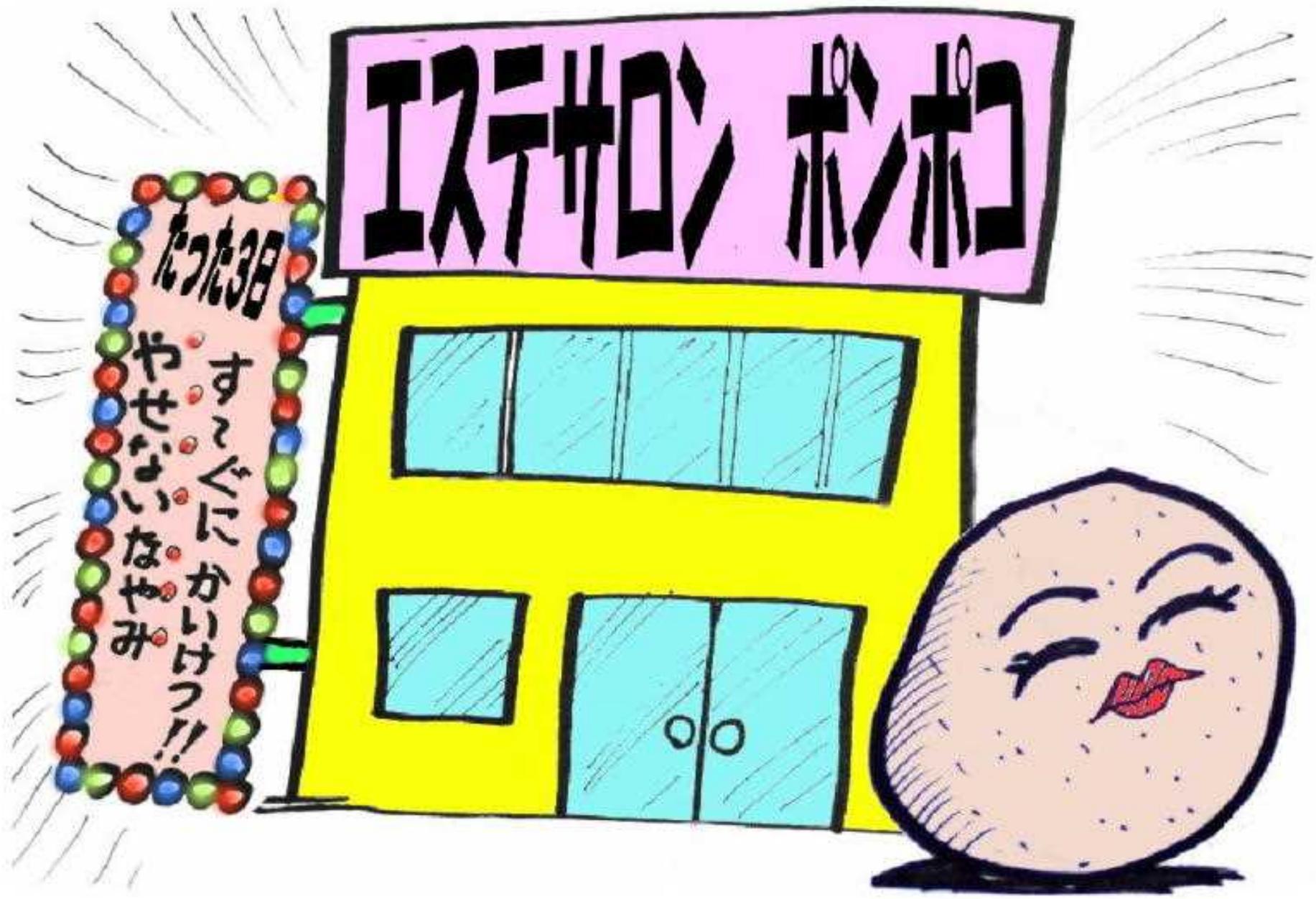
よーし，僕もウォーキングして，スリムになるだきゅー

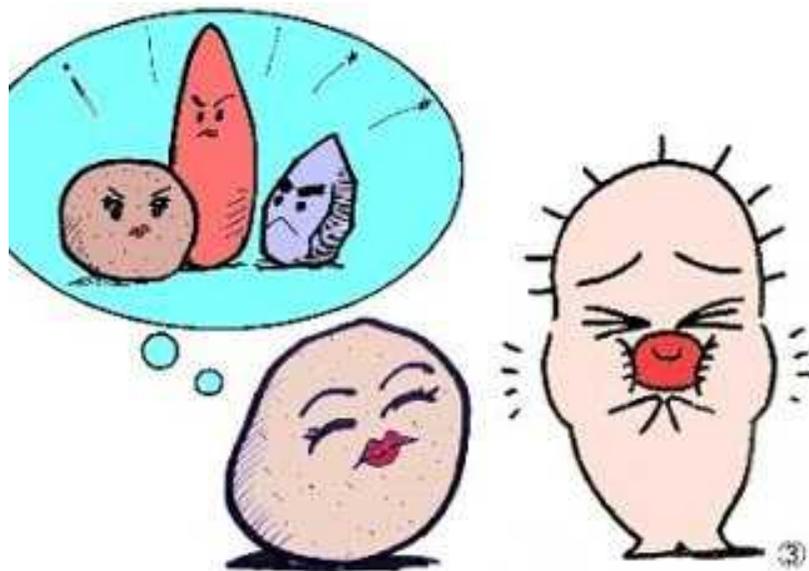
少し歩くだけで，もう一休み

そこに大きな看板が掛かってました。

「やせないなやみ　すぐにかいけつ　たった3日　エステサロン　ぽんぽこ」

看板を見ていると，店の中からお客さんが出てきました。じゃがいもジャガ子さんです。いつも，ぷんぷんしていて，怖いのに，今日はとても，上機嫌でにこにこしています。





2の裏

「あら，キューちゃん。お久しぶり。ねえ，何か，変わったと思わない。」

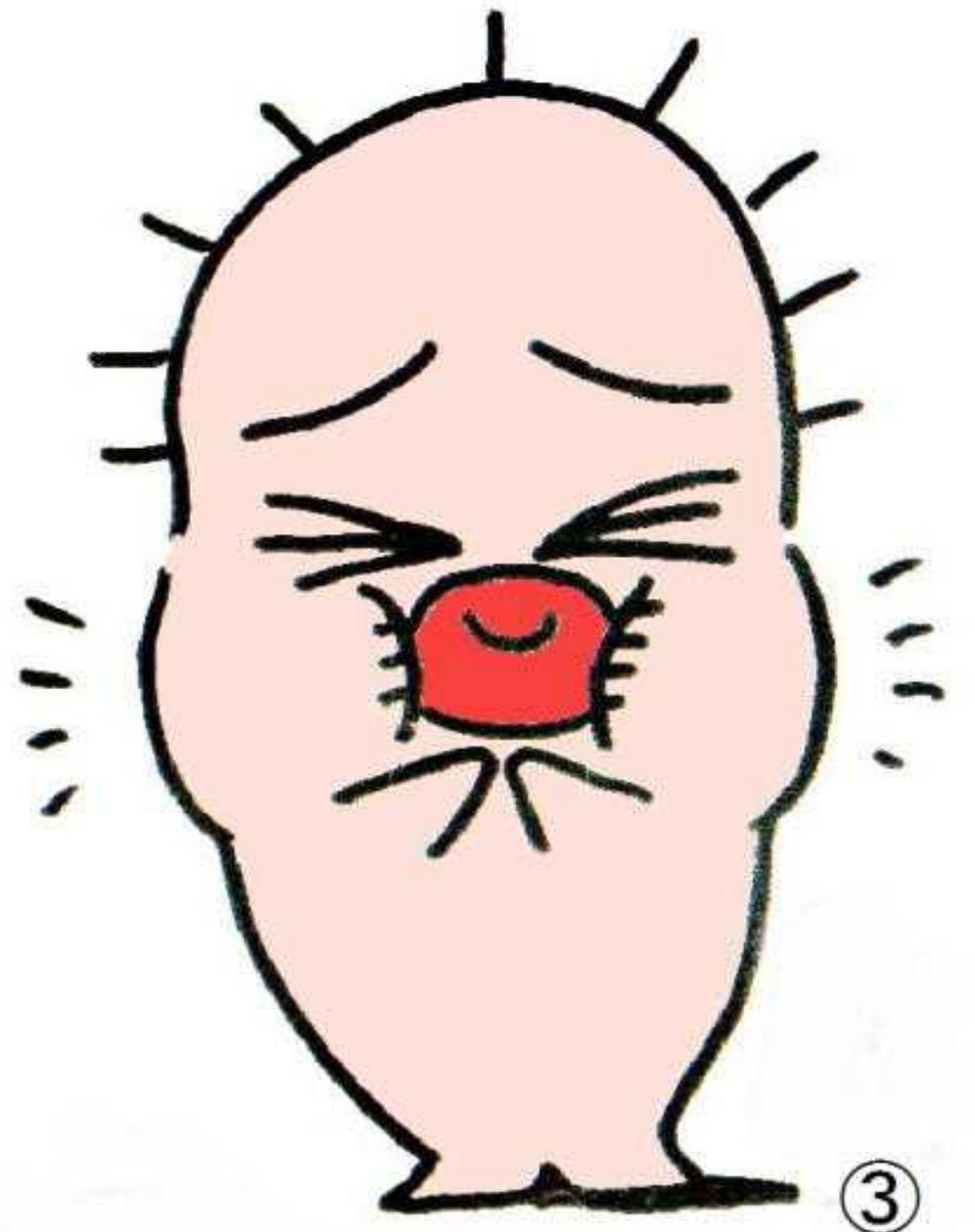
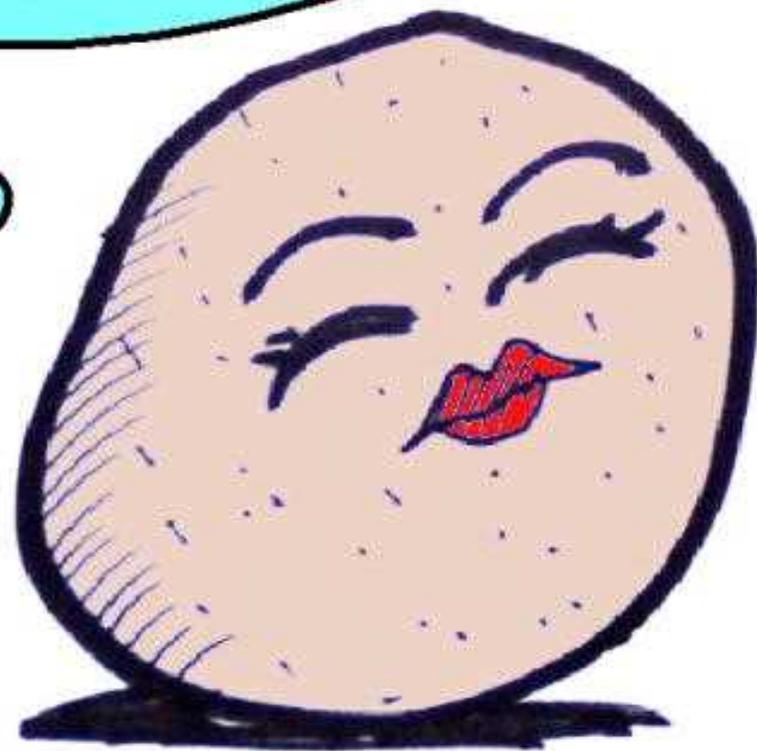
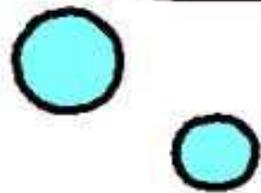
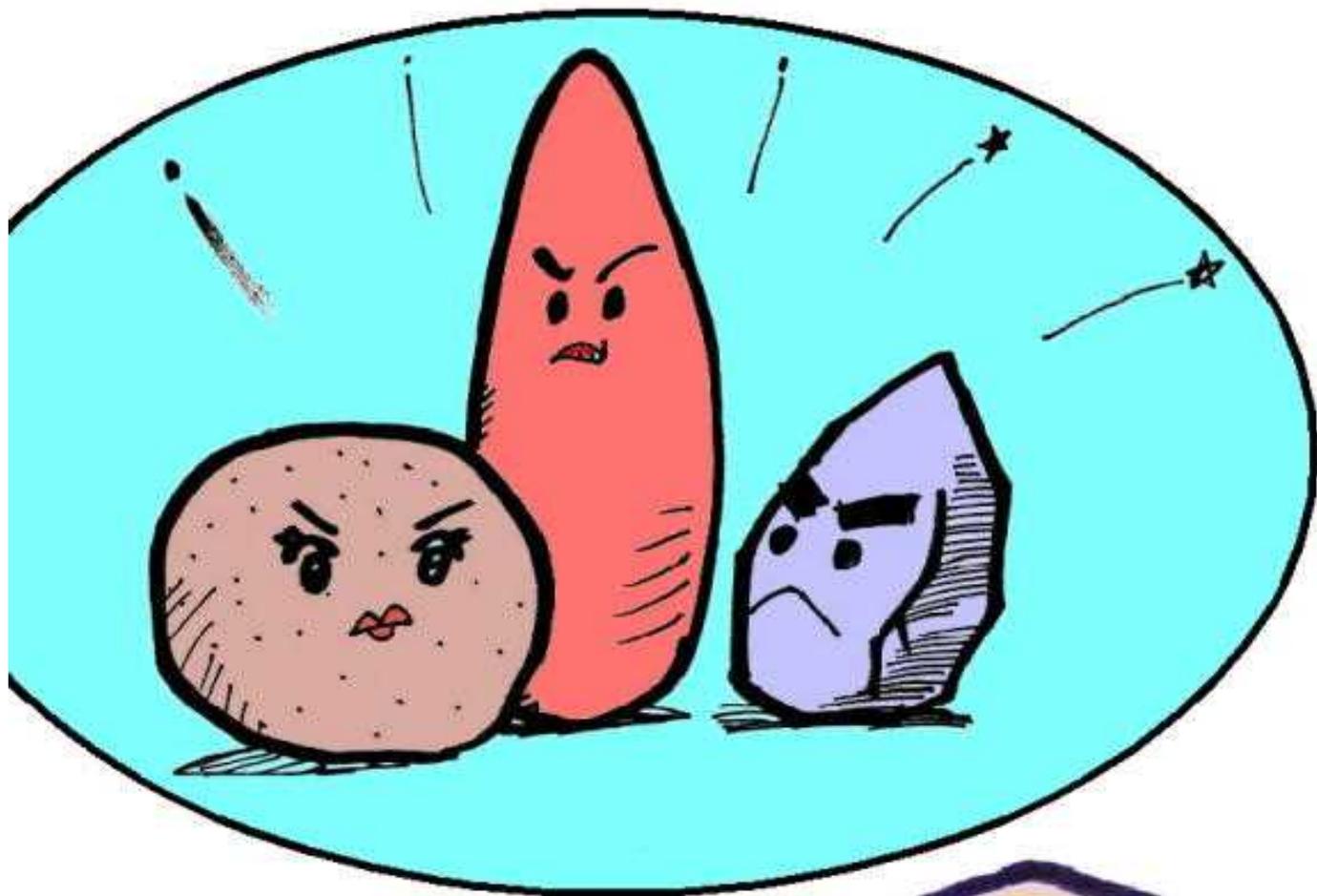
「何だろう？よくわからないけど，また，怒られたらたいへんだきゅー。」キューちゃん困りました。

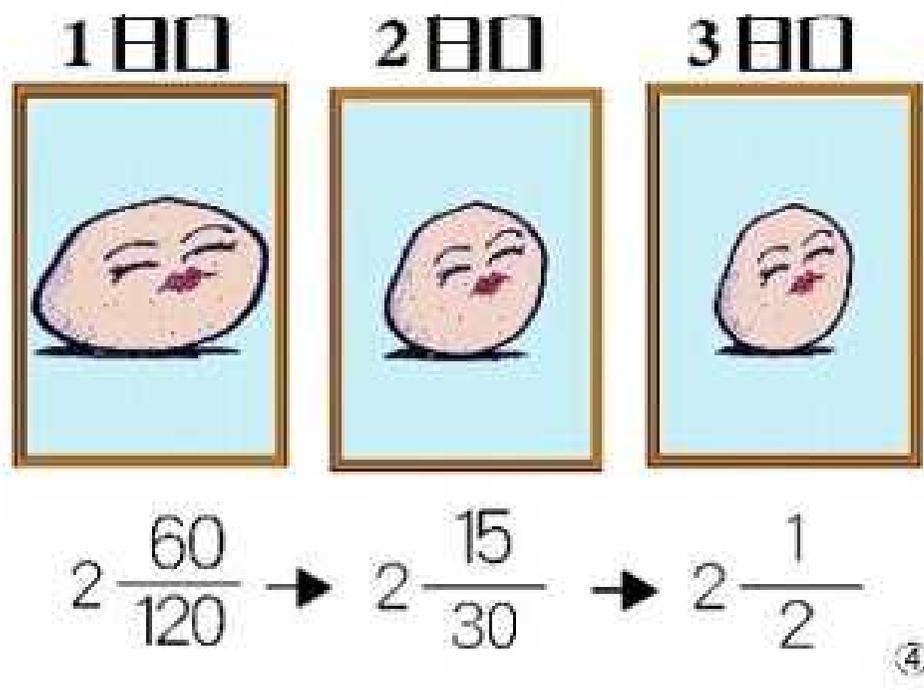
「一段と，きれいになっているだキュー。」

「わかる？実は，前，誰が大きい？と言いついていたとき，実は，私は本当はいやだったの，それに，私が一番大きいと後で知らされてびっくり。何とかやせたいと考えていたら，このエステサロンが目に入ったの。」

「それにしても，キューちゃん，ぷくっと，ふくれてない？」

「わかるんだキュー。」





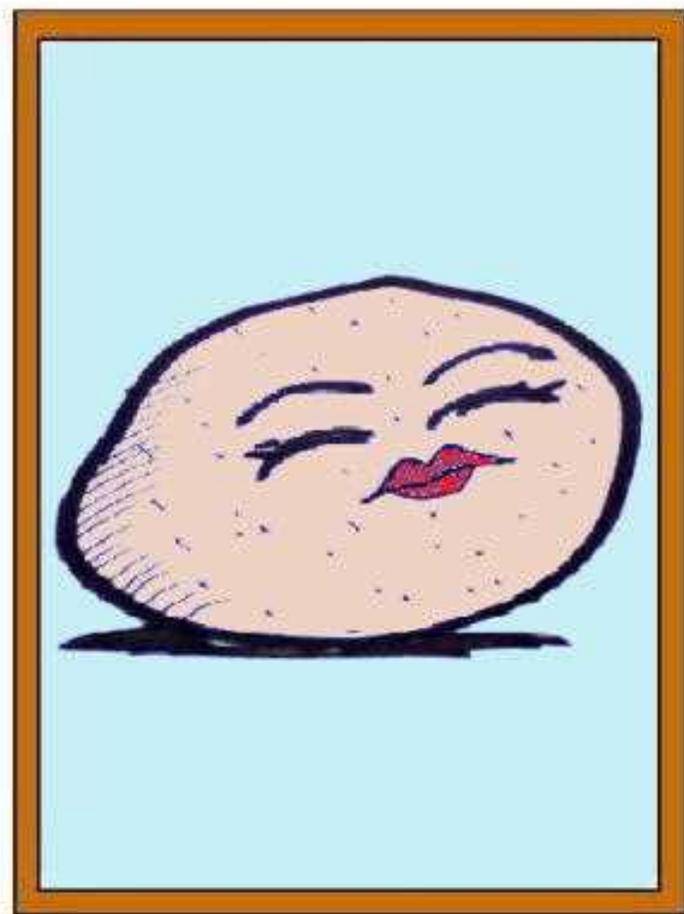
3の裏

私なんか、一日目 2と120分の60キロもあったのが、二日目 2と30分の15キロ、そして、三日目の今日、2と2分の1キロまでなったわ。私なんか、120から2よ、すごいでしょ。

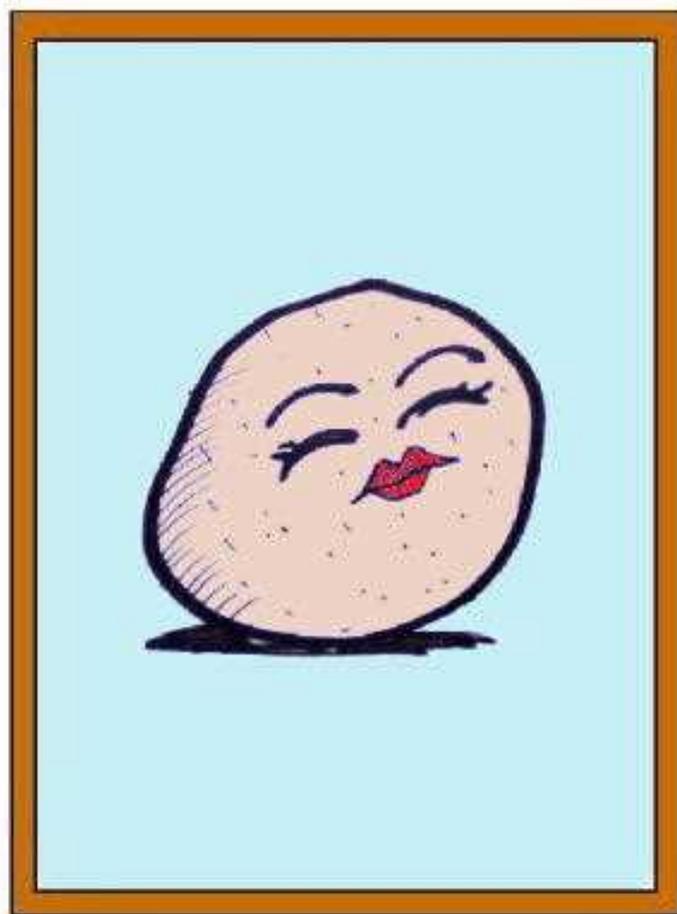
これは、いいだきゅー。入会したいだきゅー。入会金は2千円です。きゅーちゃんはずぐ戻り、1年間こつこつと貯めていたお小遣い2千円を持っていこうとしました。

確か、1年前 広い土地が買えると言われて、しかし、困っていたひもが外れていて面積がないといわれ、お小遣いをだまし取られた事があったよね。今回は、大丈夫でしょうか。

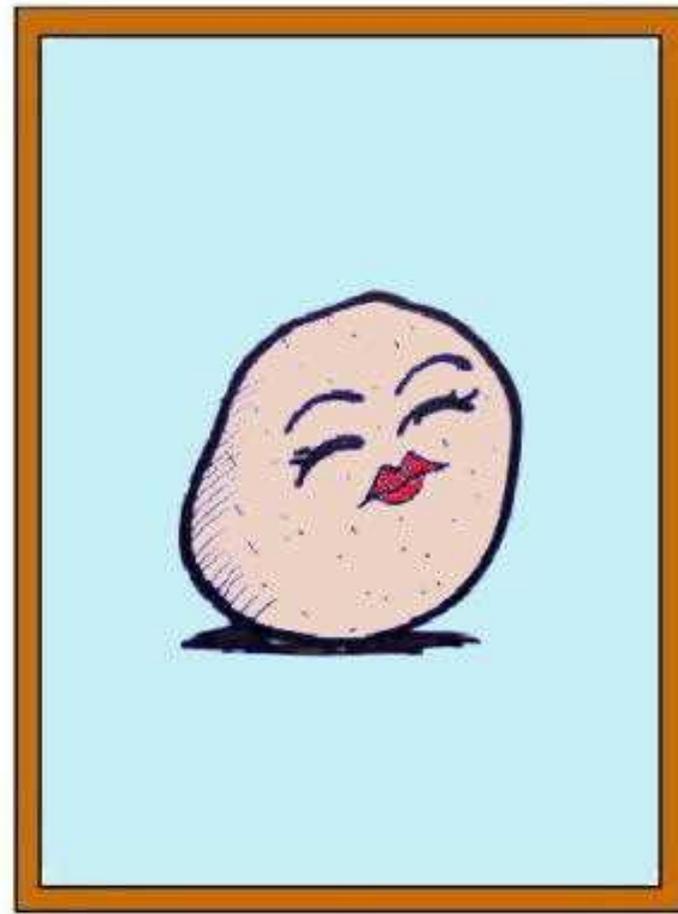
1日目



2日目



3日目

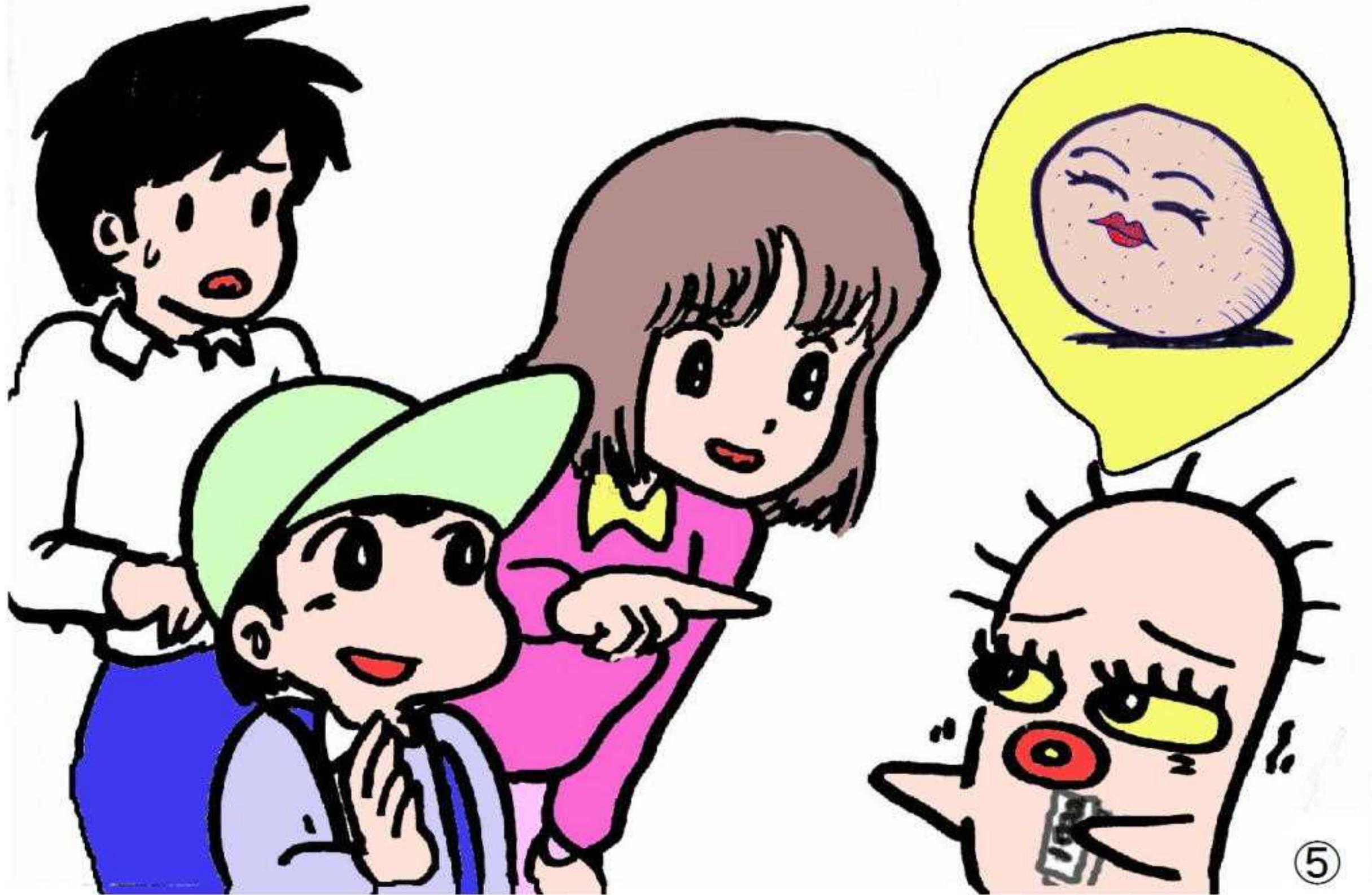


$$2 \frac{60}{120} \rightarrow 2 \frac{15}{30} \rightarrow 2 \frac{1}{2}$$

4の裏

おうちを出ようとしたとき、梅野梅子さんが見つめました。
「どうしたの？きゅーちゃん。どこかに行くの？」
「エステでやせてくるだキュー。無理なくやせるんだキュー」
「またまた、大丈夫なの？そんなにあまいものじゃないとおもうけど」
「じゃがいもジャガ子さんも、やせてとても機嫌がよかったきゅー。」







5の裏

「いらっしゃいませ ぽんぽん。」中から、タヌキのような二人が出てきました。

わたしの名前は、25分の5 ぽんた 私の名前は24分の18 ぽん吉といたします ぽんぽん。

特別サービスでとても安くなっています。3日間でみるみるやせて、大好評 ぽん。

「エステ入会は、たったの2000円です ぽん。」(キューちゃんにとっては、1年かけて小遣いをためた貯金ですなんですよね。)

「よろしくたのむだきゅー。僕は、9キロがベストなんだキュー。」

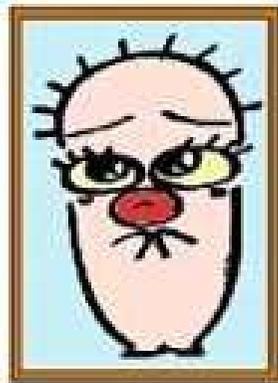
「では、お客さんの1日目の体重を測りましょう。この鏡の前に立つだけで、まか不思議、やせてくるのです。体重計も変わってきますよ。 ぽん」



1日目

2日目

3日目



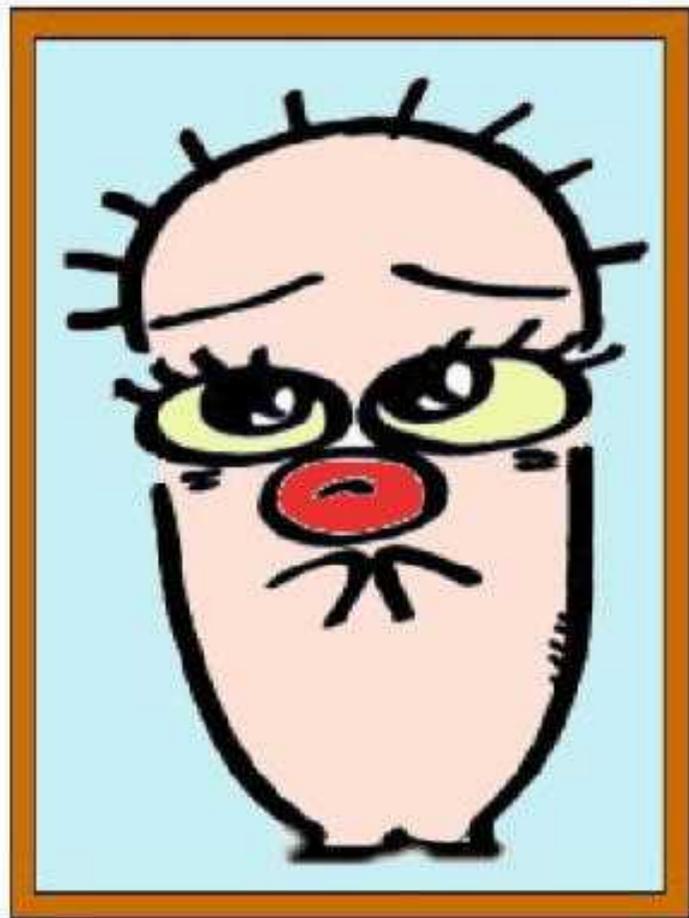
$$9\frac{12}{48}$$

6の裏

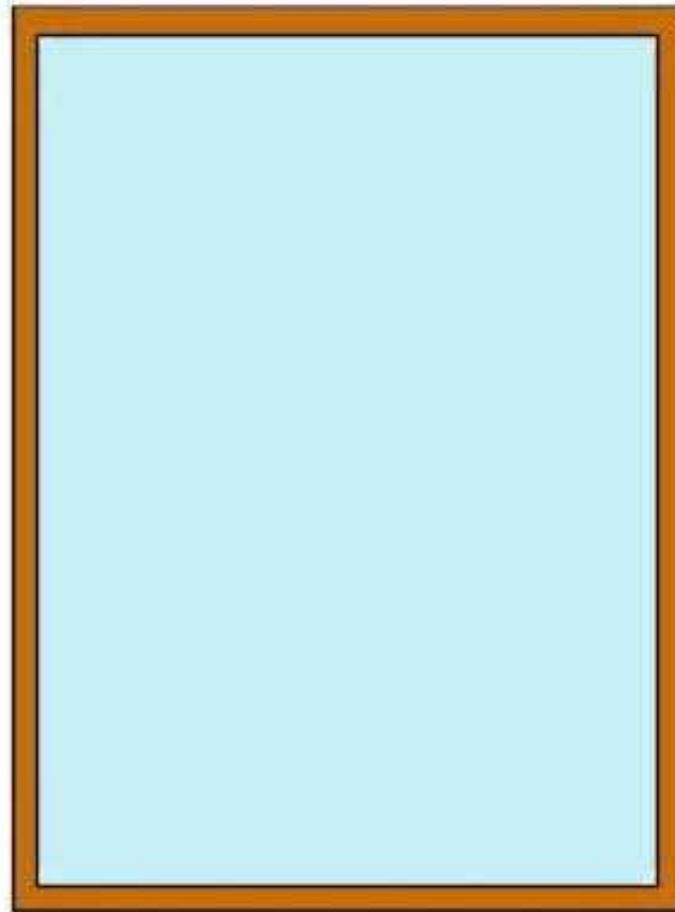
「9キロと48分の12キロもあるだきゅー。鏡で、見たら、とっても太っているだきゅー。48分の12が小さくなってほしいだきゅー。」

「大丈夫ですよ、明日には必ず、どんどんやせていきますから、お楽しみに。ぽん」

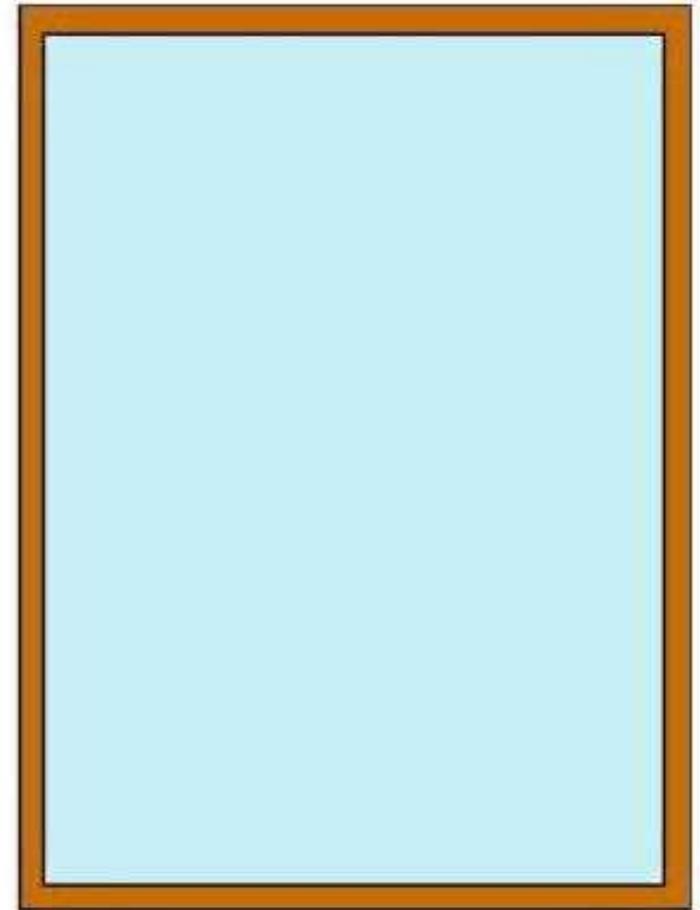
1日目



2日目



3日目



$$9\frac{12}{48}$$

1日目



2日目



3日目



$$9\frac{12}{48} \rightarrow 9\frac{2}{8} \rightarrow 9\frac{1}{4}$$

7の裏

2日目、キューちゃんが、また2日目の鏡の前に立ちました。店員の言うとおりに、やせているではありませんか。体も、スリムになり、体重が9と8分の2キロになっていました。「やっただきゅー。明日もがんばるだきゅー。」

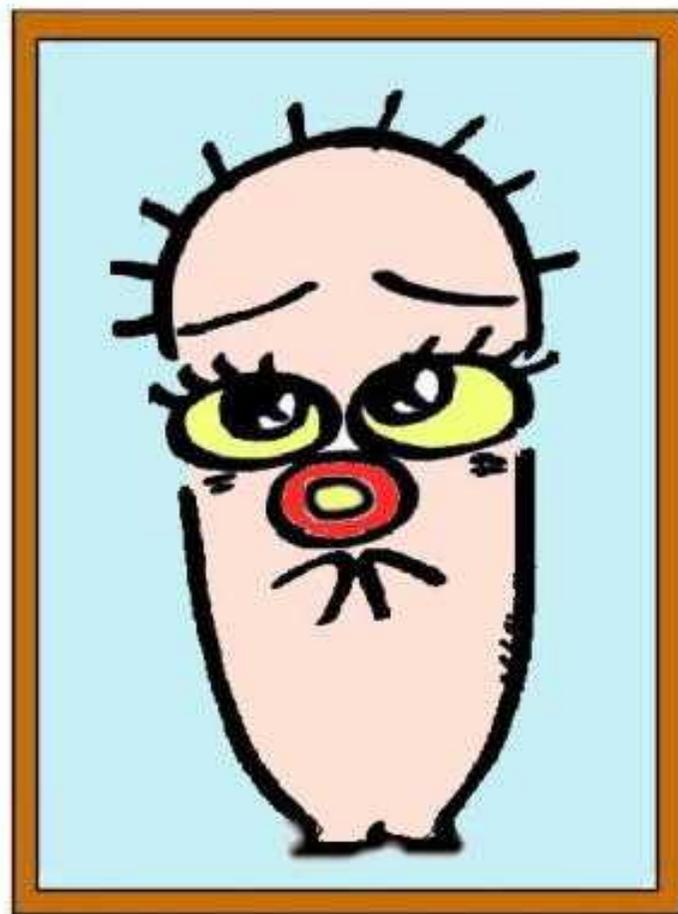
3日目、なんとまたまた、スリムになりました。鏡の前のキューちゃんは、別人のようです。「うれしいだきゅー。」店員が言いました。「体重もほら、9と4分の1キロまで減りましたよ。ぽん」

「48から、4までへっただきゅー。」きゅーちゃんは大喜びで、帰りました。なんか、変じゃないですか。

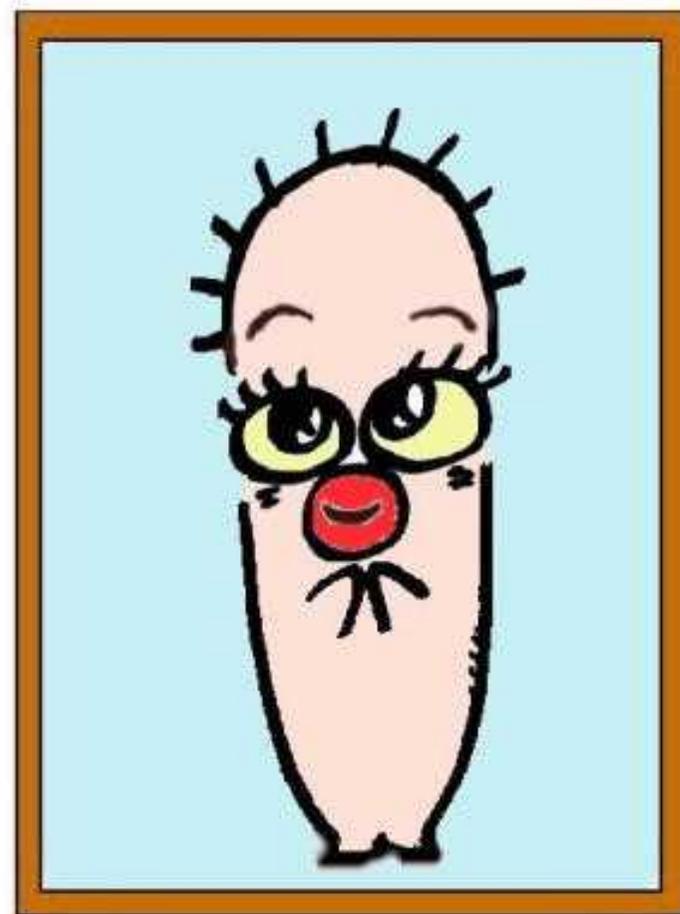
1日目



2日目



3日目



$$9\frac{12}{48} \rightarrow 9\frac{2}{8} \rightarrow 9\frac{1}{4}$$

8の裏

帰ったキューちゃん，るんるん気分です。

それを見た三人が言いました。

「キューちゃん，まただまされているよ。」

「そんなことないだキュー。ちゃんとやせただだキュー。」

「じゃあ，鏡の前に立ってごらんよ。」

なんと，そこに映っているのは，太った以前のキューちゃんでした。

「きゅーちゃん，だまされてるのよ。わからないの。いったいどれだけやせたの？」

「48分の12から，4分の1までやせたよ。」「それって！」

松野松男君が言いました。みんなは，おかしさがわかりましたか。

みんなで，考えてみよう。





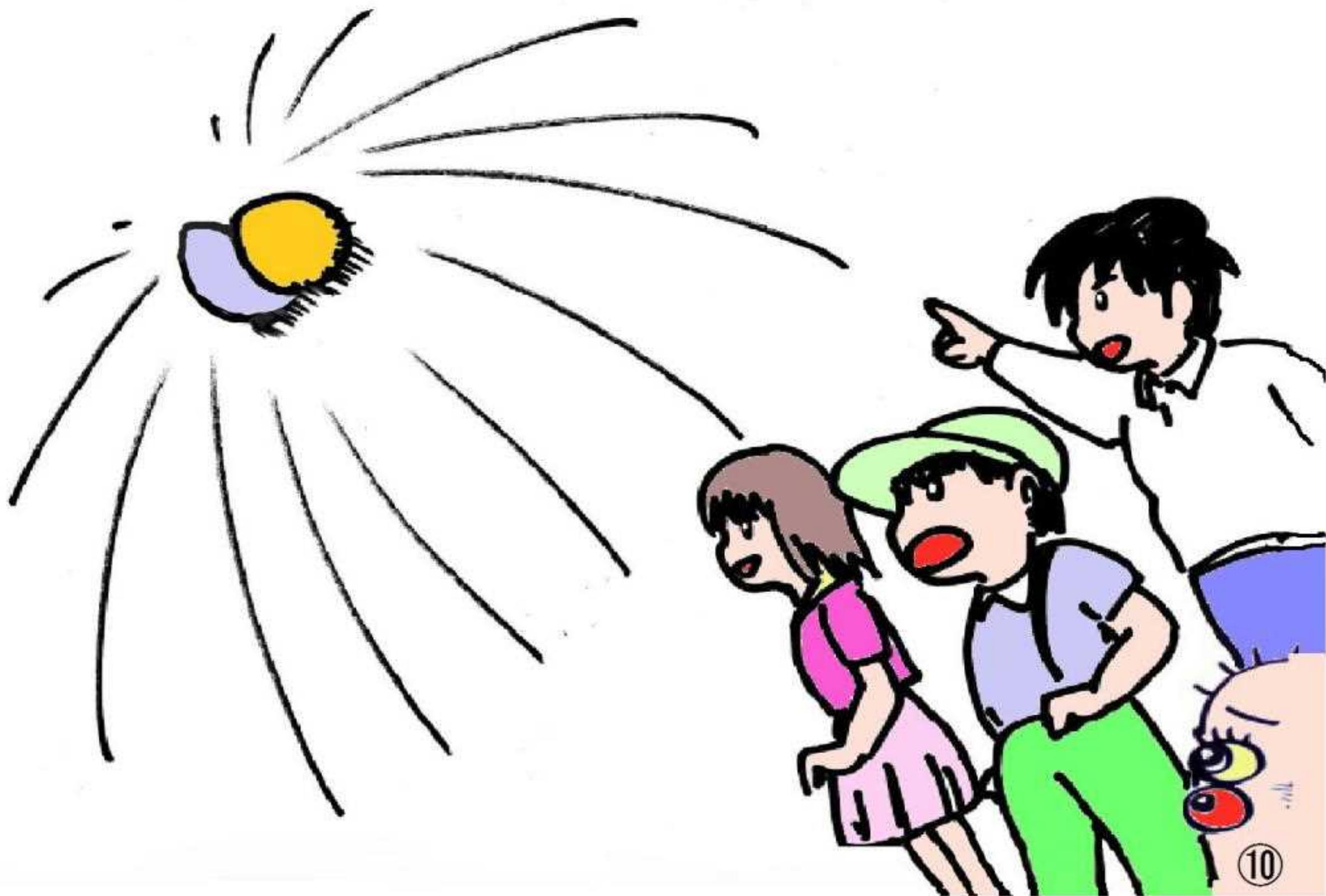
9の裏

みんなが、言い合っていると、なにやら空から落ちてくる物があります。

竹の武雄君が「あれは、何だろう、二つの玉見たいのが落ちてくるよ。」

「こちらに、どんどん近づいてくるよ。」





10の裏

突然、目の前に落ちたかと思ったら、中から宇宙人が現れました。





1 1 の裏



「私たちは、宇宙分数警察。分数は、宇宙のみなもとです。小数で割り切れない物もすべて割り切ることができる すばらしいものです。

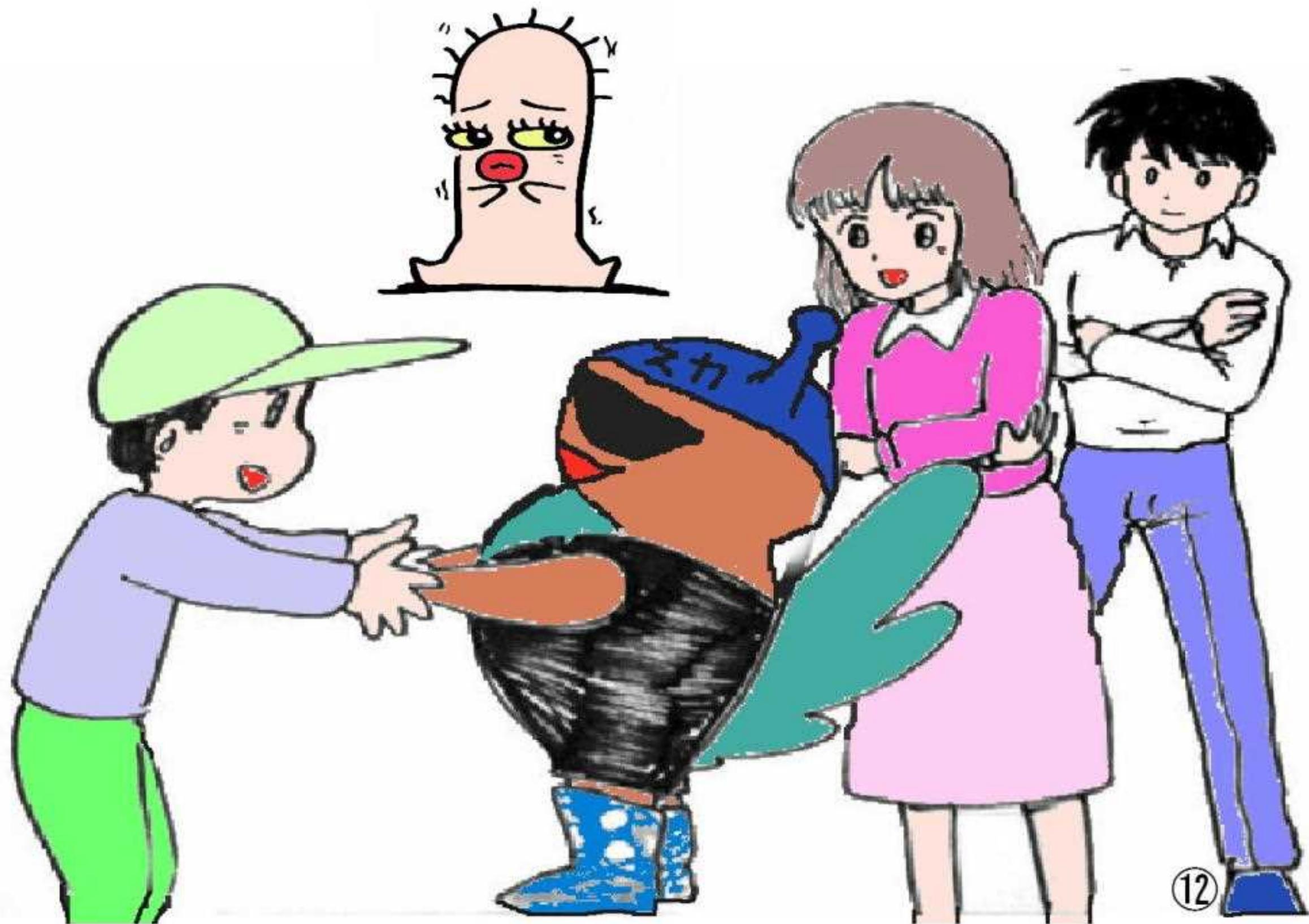
その分数が正しく使われているか、宇宙をパトロールをしています。実は、この星の近くを通っていたら、不正なセンサーが働いて、この星に降りて来ました。」

「この星は、地球といいます。あなたたちの名前は？」

「私たちの名前は、ブンスカ星人とカスンブ星人です。よろしく。」

「じつは、向こうにいるキューちゃんが 分数でだまされたみたいなんです。助けてください。」 「なんか、変な宇宙人だきゅー。当てになんかならないだきゅー。」

「キューちゃん、そんなこと言ったら、失礼よ。もともと、きゅーちゃんがいけないのよ。」





1 2 の裏

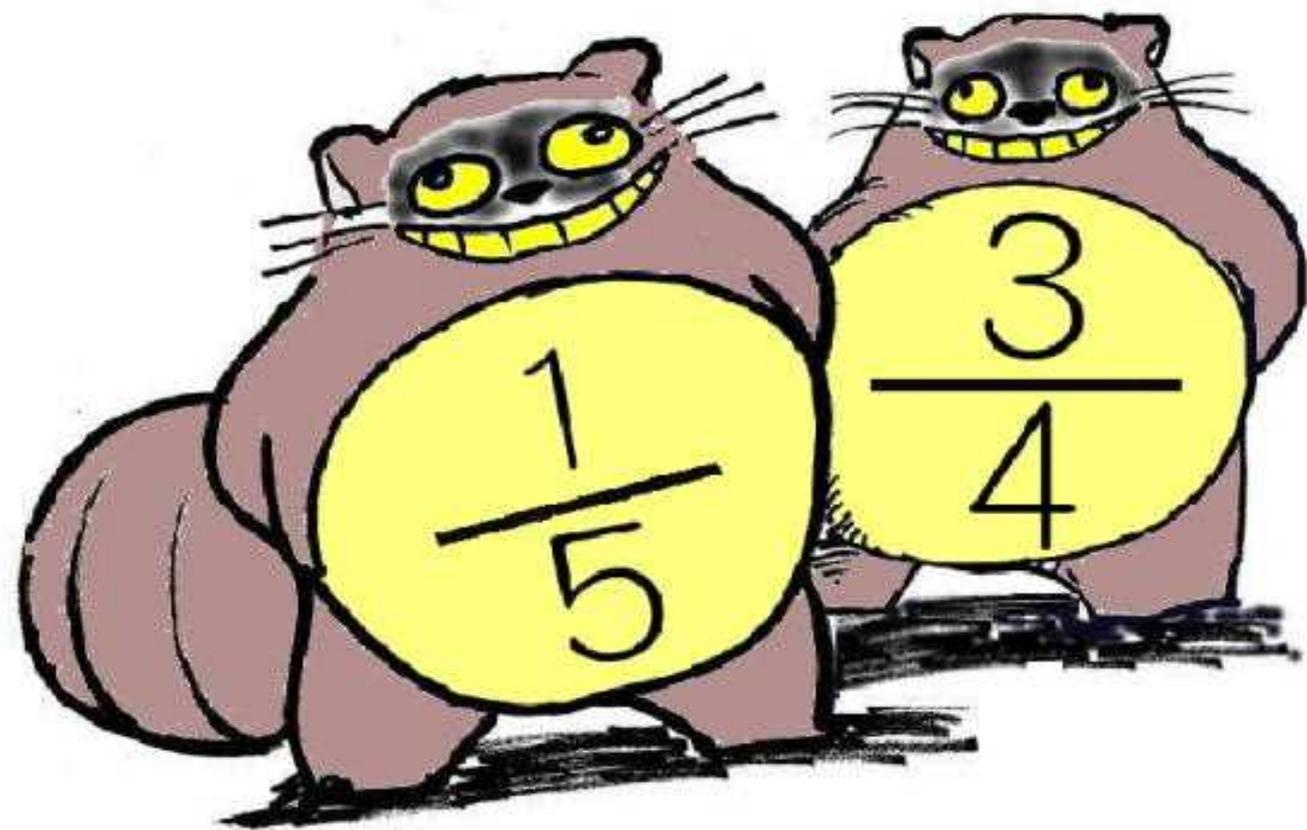
みんなで、エステサロン ポンポコにきました。
あれ？25分の5 ぽんたさんと24分の18 ぽん吉がいませ
ん。

「ねえ、25分の5 ぽんたさんと24分の18 ぽん吉さんは
どこにいったきゅー。」

「私たちは、5分の1 ぽんたと、4分の3 ぽん吉です。そ
んな人は知りませんよ。それに、ここは、私たちがずっ
といましたし、何か勘違いしてませんか。ぽんぽん」

「とにかく、入らせてもらおう。」松野松男君が強引に
入って行きました。「困りますよ。ちょっと、お客さん！
ぽん」

みなさん、この2人、怪しくない？どう思う？



1日



2日



3日



上から、鏡を見ると・・・なんと!

鏡に紐がしてあったんだよ



13の裏

梅野梅子さんが、鏡の前に立ちました。きゅーちゃんが「梅子さんも、以外と太ってるね。」「きゅーちゃん、いい加減にしてよ。」二日目、三日目にもはいりました。「これは、鏡に仕掛けがあるね。」たけの武雄君が、鏡を上から見ると、仕掛けがわかりました。「きゅーちゃんたら、こんな手に引っかかるなんて。」きゅーちゃんはショック。「でも、弱みにつけ込んで、人をだますのだから、許せないわ。」「でも、どこにいったんだろう。」「2000円、だまされて取られたから、返してほしいだきゅー。」きゅーちゃんにとっては、1年間こつこつと貯めたお金なんですよ。きゅーちゃん、かわいそう。「困りましたね、そんなことを私たちに言われてもね。ぽんぽん」と店員がしらを通そうとした時

1日目



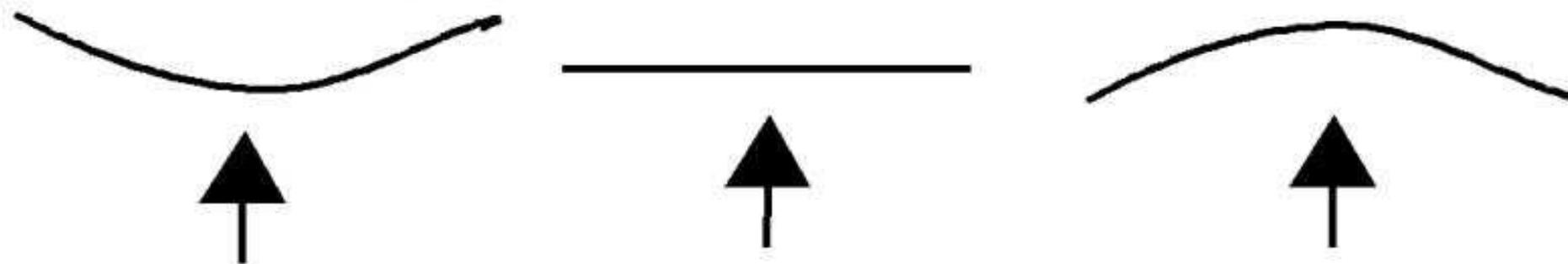
2日目



3日目



上から、鏡を見ると・・・おんど!



鏡に細互がしてあったんだよ

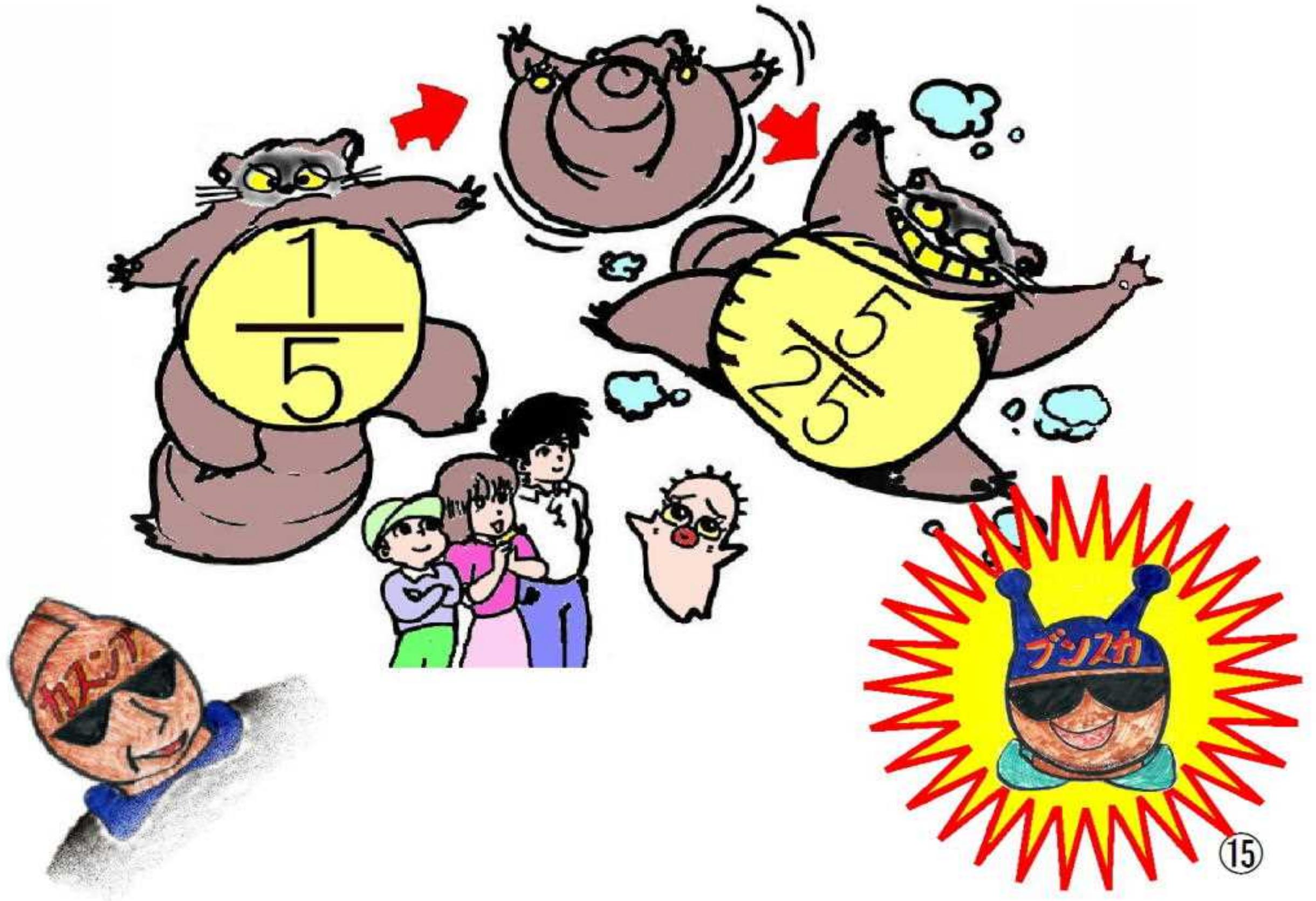


14の裏

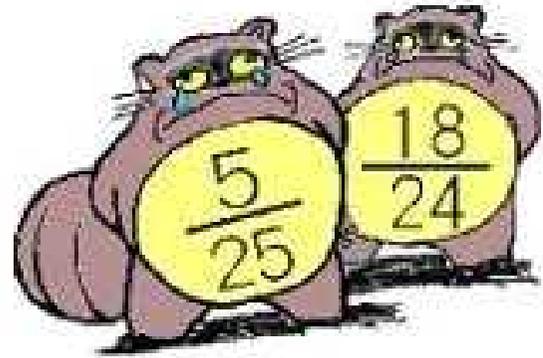
「ブンスカ光線！」宇宙分数警察ブンスカ星人の目から、まばゆい光が二人の店員に発射されました。

店員は、飛び上がり、空中回転。どうしたんでしょう。





15の裏



すると、どうでしょう、店員は、変身して、なんと25分の5ぽん太さんと、24分の18ぽん吉さんになりました。

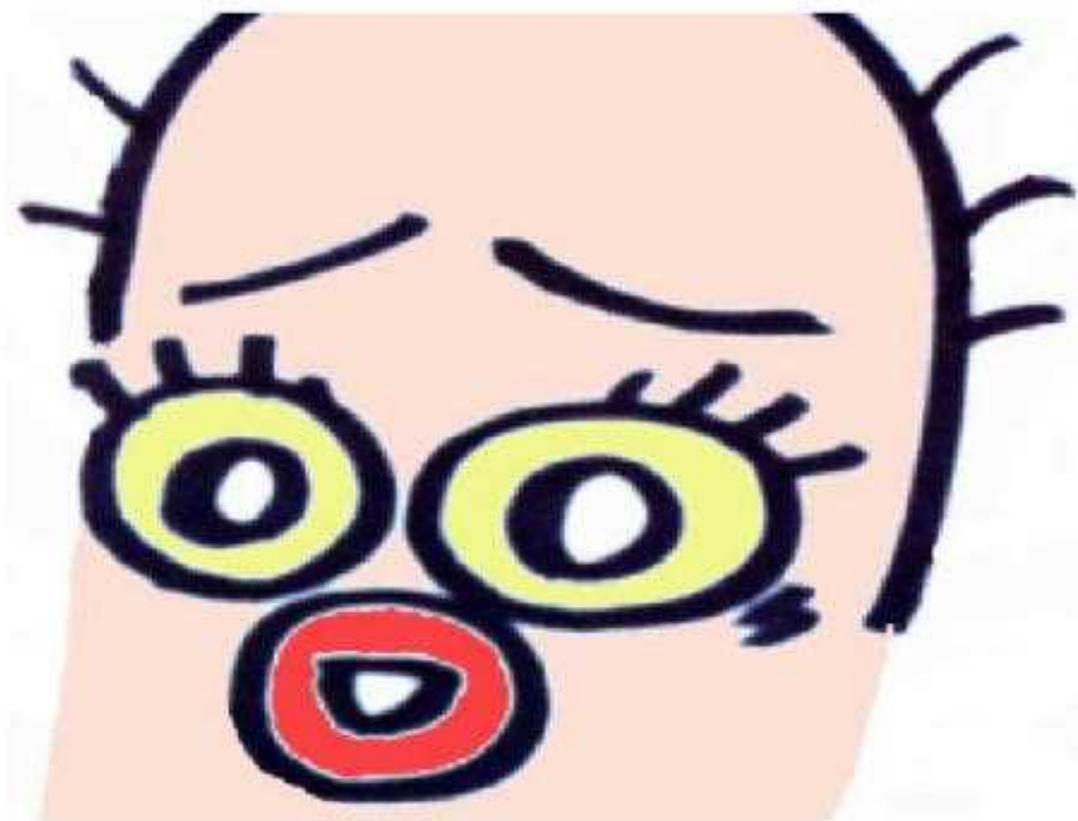
「あっ、だましたいたのね。」「これも、また、だますなんて、もしかしたら、おまえたちは、タヌキだな。人間を化かしてだます悪いタヌキだ。」

「すみません、ついつい下ごころで。お金はお返しします。ぽん」

「ブンスカ星人さん、さっきは失礼なことをいってしまっただきゅー。ごめんなさい。」

「それにしても、ブンスカ光線で、すごい光線だね。どういう光線なの？」

みんなは、わかるかな。





$$\frac{1}{5} = \frac{1 \times 5}{5 \times 5} = \frac{5}{25}$$

$$\frac{3}{4} = \frac{3 \times 6}{4 \times 6} = \frac{18}{24}$$

16の裏

倍分約分説明シートを用意する

ブンスカ光線とは、分母と分子に同じ数をかけて、倍分する光線である。

5分の1は、分母と分子の両方に 5 をかけて、25分の5になります。

4分の3は、分母と分子の両方に、6 をかけて、24分の18になります。

数としては、大きくなるわけではないのです。

どちらも、同じ大きさなのです。だから、タヌキが化けていろいろと、変えてきます。実は、カスンプ光線もあるのです。それを、実はタヌキたちがエステサロンで使っていたのです。

ブンスカ星人がいました。「なぜ、おまえたちがカスンプ光線を使ったのか。誰かに教えてもらったのか。」

タヌキたちが言いました。「ある日、山で遊んでいたら、空から、サングラスが落ちて来て、それをかけたら、光線が出て、名前が変わりました ぽん。それって カスンプ光線っていうんですか ぽん。」

カスンプ星人が慌てて、ポケットを探りました。「あっ、予備のサングラスがない。わたしのサングラスだ、ごめんなさい、私が、この間、パトロール中に落とした物だ。」

「宇宙のパトロールとって、自分のせいで、問題が起きてるのだから、困ったもんだね。」

「いやー、もうしわけない。」「でも、お二人のおかげで、助かったのだから、お礼は言わないとね。」

「ありがとうだきゅー。」ちなみに、カスンプ光線の説明を試みよう。



$\frac{1}{5}$	=	$\frac{1 \times 5}{5 \times 5}$	=	$\frac{5}{25}$
$\frac{3}{4}$	=	$\frac{3 \times 6}{4 \times 6}$	=	$\frac{18}{24}$



$$\frac{5}{25} = \frac{5 \div 5}{25 \div 5} = \frac{1}{5}$$

$$\frac{18}{24} = \frac{18 \div 6}{24 \div 6} = \frac{3}{4}$$

17の裏
 倍分約分説明シートを用意する
 カスンプ光線とは、分母と分子を同じ数でわって、約分する光線である。

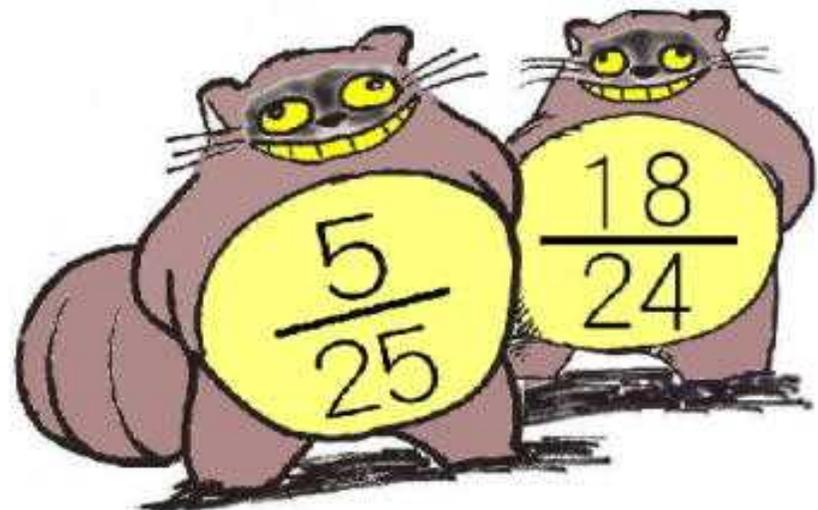
25分の5は、分母と分子の両方を 5 でわって、5分の1になります。

24分の18は、分母と分子の両方を、6 でわって、4分の3になります。

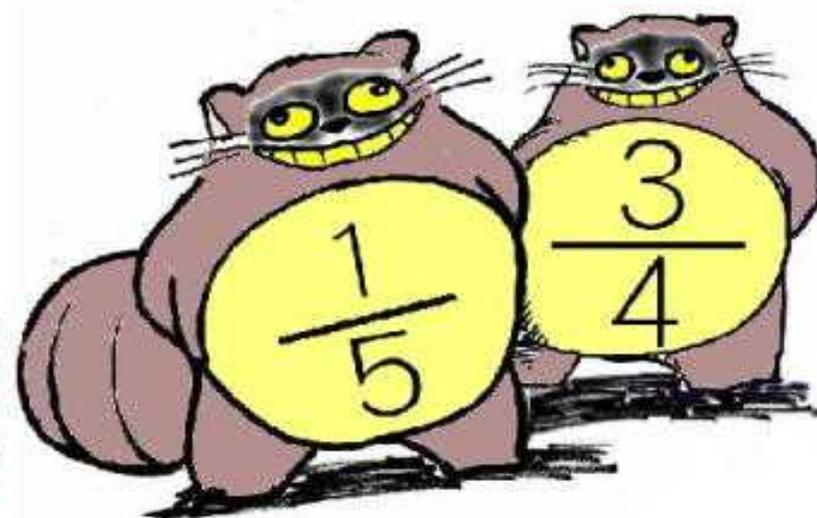
数としては、大きくなるわけではないのです。

じゃがいもじゃが子さんも、120分の60は、分母と分子を4でわると、30分の15。30分の15は、分母分子を15で割ると2分の1になります。

キューちゃんも 48分の12は、分母と分子の両方をを6でわると、8分の2。8分の2は、分母と分子の両方を2でわると、4分の1です。



カズン光線



$$\frac{5}{25} =$$

$$\frac{5 \div 5}{25 \div 5} =$$

$$\frac{1}{5}$$

$$\frac{18}{24} =$$

$$\frac{18 \div 6}{24 \div 6} =$$

$$\frac{3}{4}$$

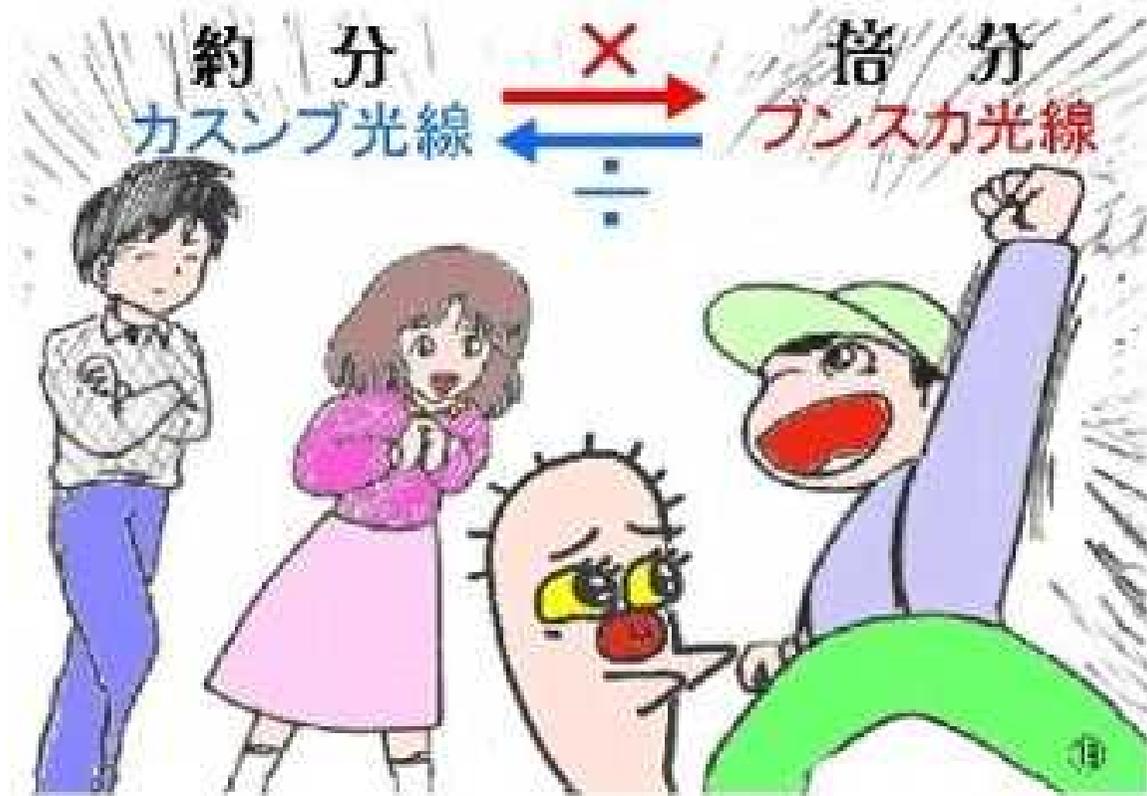
18 の裏

約分と倍分は行ったり来たりの関係がある。

「これを使えば、これからいろいろな事ができるかもしれないね。」

「分数の世界は、2バー族は、2バー族の中でしか生きられないと考えていたけど、違う分数族とも一緒になれるかもしれないね。」

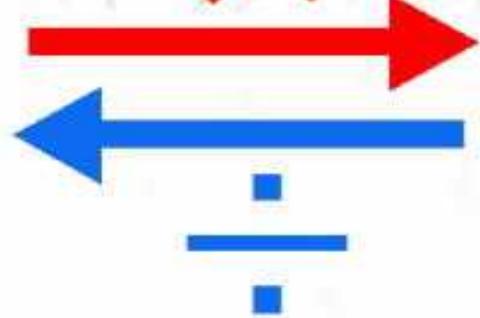
「それって、すごくない。世界がひとつになるね。」
ブンスカ星人、カスンブ星人ありがとう。倍分，約分これから，この地球で，正しく使って行きます。



約分

カスンブ光線

×

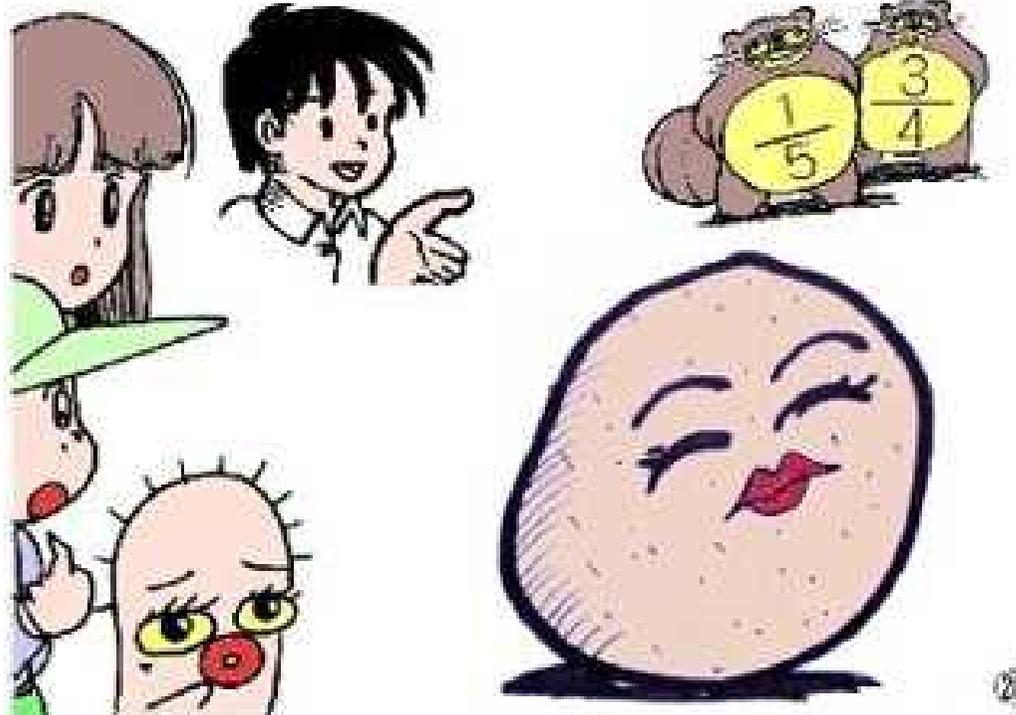


倍分

ブンスカ光線



19の裏



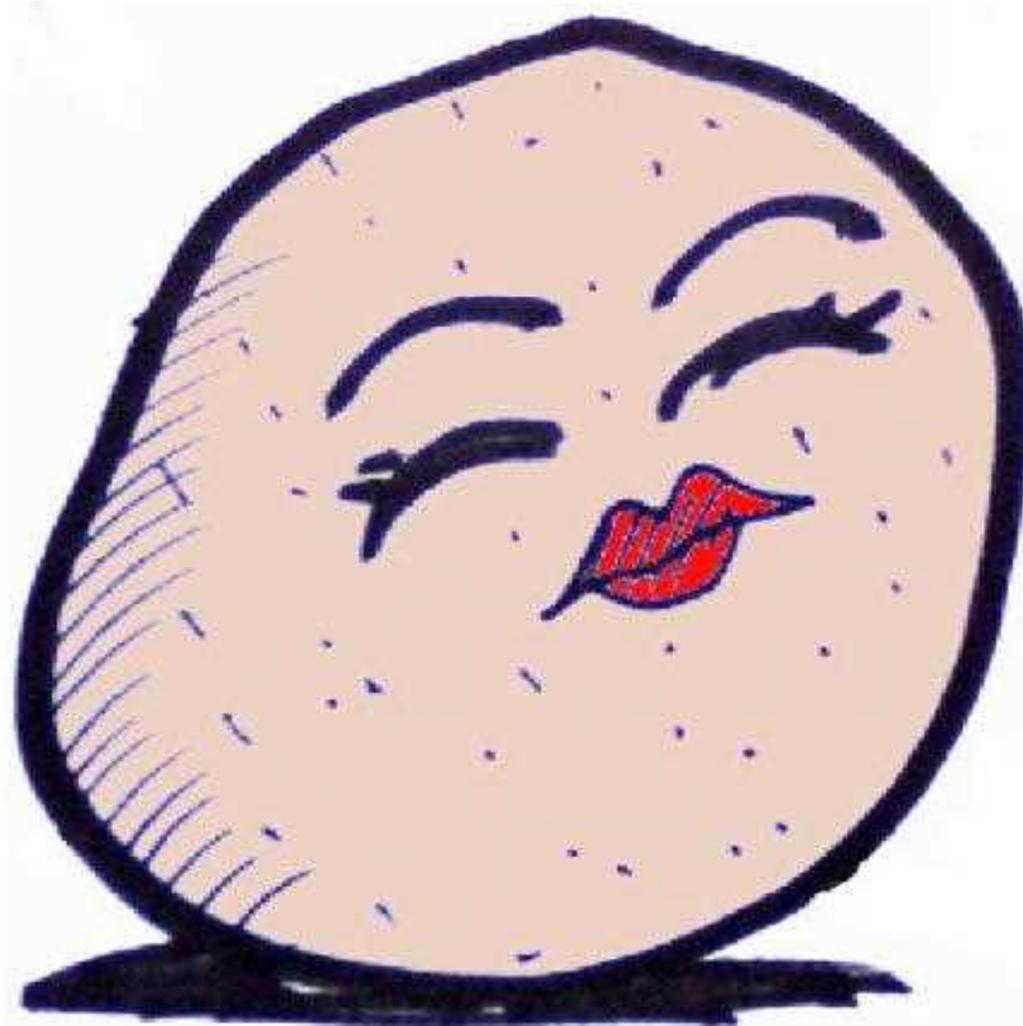
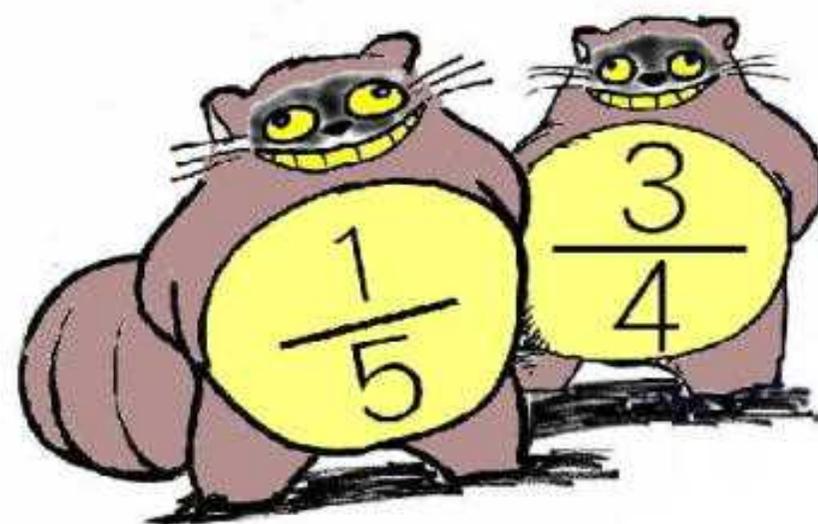
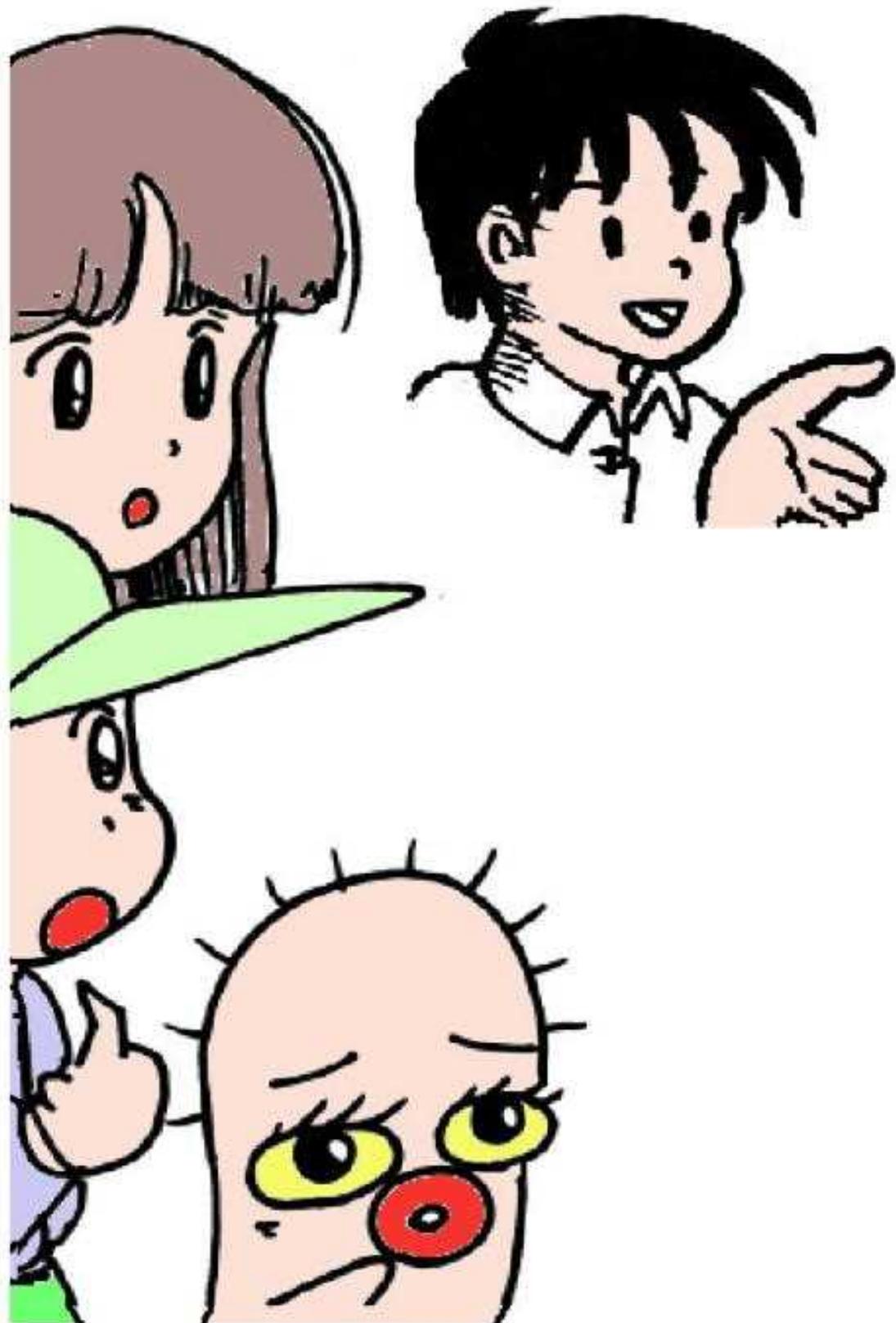
その時、じゃがいもじゃが子さんが、やってきました。
「じゃが子さん。・・・」
「何かしら？」
「ねえ、本当の事行った方がいいよね。」
「いや、言わない方がいいかも、だって、本人に言ったらこちらに怒りがくるよ、きっと。」
「それよりも、本人が喜んでいるんだから、しばらくそっとしておきましょう。」

「今日も、すて

きだね。」

「まあ、ありがとう。私、急いでいるから、またね。」

「いっちゃった。まあ、いいよね。」



20の裏

さようなら，宇宙分数警察，ブンスカ星人とカスンブ星人，ありがとう。また，会いましょう。

インチキエステにだまされるな の終わり







21のうら

分数シリーズ第3弾 宇宙分数警察登場

インチキエステテサロンにだまされるな

作 芦川 健

絵 板垣けんじ&ガリバー

ー

ユトーリ王国から、帰ったキューちゃんたち。またまた、なにやらトラブルに巻き込まれそうですよ。キューちゃん、気をつけてね。

では、はじまり はじまり